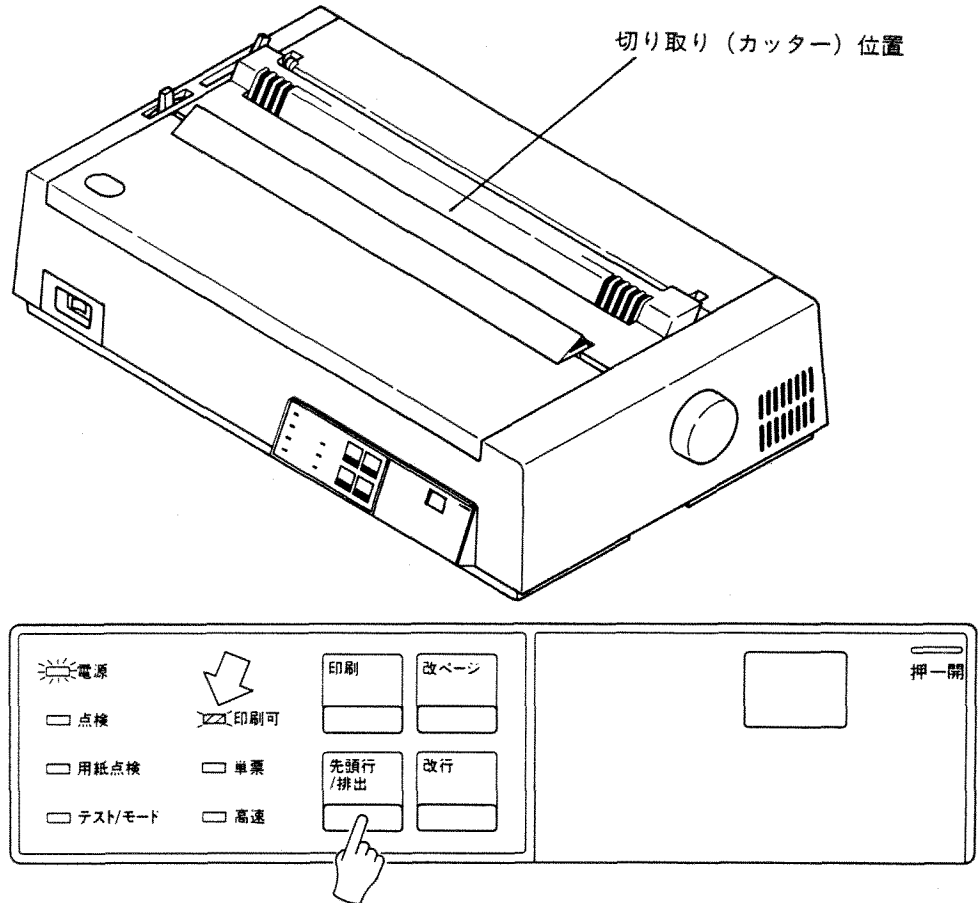


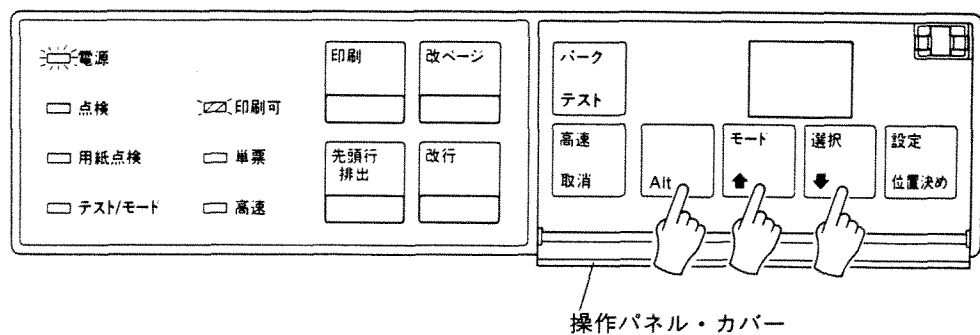
3.6 ミシン目と切り取り位置の調整

注) 連続用紙がセットされており、印刷可ランプが消えていることを確認してください。

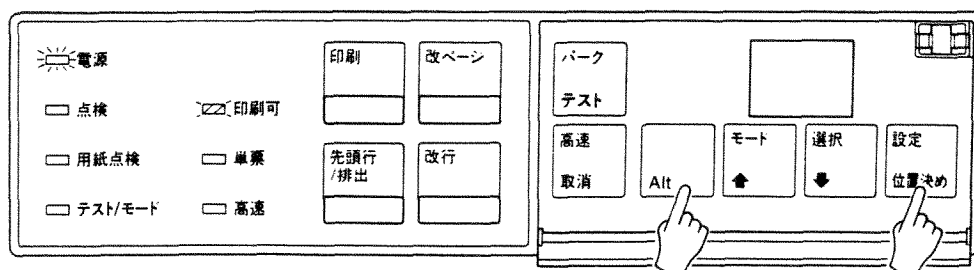
1. 先頭行/排出スイッチを押して、ミシン目を切り取り (カッター) 位置に近づけてください。このとき、印刷可ランプが点滅します。



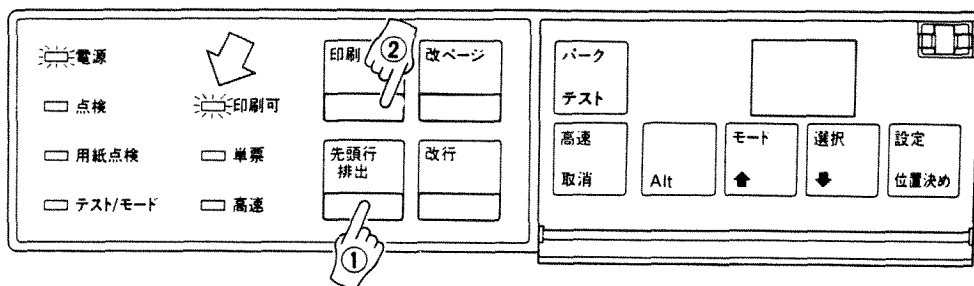
2. 用紙のミシン目と切り取り位置が合っていない場合は操作パネル・カバーを開き、 \uparrow スイッチ (Alt スイッチを押したままモード・スイッチ) または \downarrow スイッチ (Alt スイッチを押したまま選択スイッチ) を押して、ミシン目を切り取り位置に合わせてください。



3. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ (Alt スイッチを押したまま設定スイッチ) を押してください。ブザーが鳴り、ミシン目位置が記憶されます。この位置は電源を切っても消えません。



4. 先頭行/排出スイッチを押して、用紙を先頭行位置まで戻してください。印刷スイッチを押すと印刷可ランプが点灯して印刷が可能になります。



3.7 用紙厚調整の仕方

最良の印字品質を保ちインク・リボンのつまりなどを防ぐために、使用する用紙の厚さに応じて用紙厚設定レバーを調整する必要があります。

下の表を目安として、最適な印字が得られるレバー位置に設定してください。

用紙厚設定レバーの位置は全部で6個（上から順に1～6：ただし、6は“.”で表示します。）ありますが、通常はレバー位置6は使用しません。用紙厚設定レバーの位置が最適値より大きい場合は、印字のかすれを生じ、印字ヘッドの寿命を短くします。また、最適値より小さい場合は、用紙が汚れたり、用紙づまりなどの原因となります。

用紙の連量（kg）と用紙厚設定レバーの位置

| 複写枚数 | 1枚目 (kg) | 2枚目 (kg) | 3枚目 (kg) | 4枚目 (kg) | 5枚目 (kg) | 厚さ (mm) | 用紙厚設定 レバーの位置 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------------|
| オリジナルのみ | 45 | — | — | — | — | 0.06 | 1 |
| | 55 | — | — | — | — | 0.08 | 1 |
| | 70 | — | — | — | — | 0.10 | 1～2 |
| | 90 | — | — | — | — | 0.13 | 2 |
| | 110 | — | — | — | — | 0.16 | 3 |
| | 135 | — | — | — | — | 0.19 | 3～4 |
| オリジナル+1 | 34 | 55 | — | — | — | 0.14 | 2～3 |
| | | 70 | — | — | — | 0.16 | 3 |
| | | 90 | — | — | — | 0.19 | 3～4 |
| | | 110 | — | — | — | 0.22 | 4～5 |
| オリジナル+2 | 34 | 34 | 34 | — | — | 0.18 | 3 |
| | | | 55 | — | — | 0.20 | 4 |
| | | | 70 | — | — | 0.22 | 4～5 |
| オリジナル+3 | 34 | 34 | 34 | 34 | — | 0.24 | 4～5 |
| オリジナル+4 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 0.30 | 5 |
| 葉書 | 140 | — | — | — | — | 0.23 | 5 |

連量：用紙の厚さの単位で、四六版（788 × 1091 mm）の用紙 1000 枚の重量のこと。

- 注) 1. オリジナルのみの 45 kg の用紙は、自動給紙では使用できません。
詳しくは、「付録 A. 用紙の仕様」を参照してください。
2. 用紙厚設定レバーの位置が最適値より大きい場合は、印字のかすれを生じ、印字ヘッドの寿命を短くします。
3. 最適値より小さい場合は、用紙が汚れたり、用紙づまりなどの原因となります。

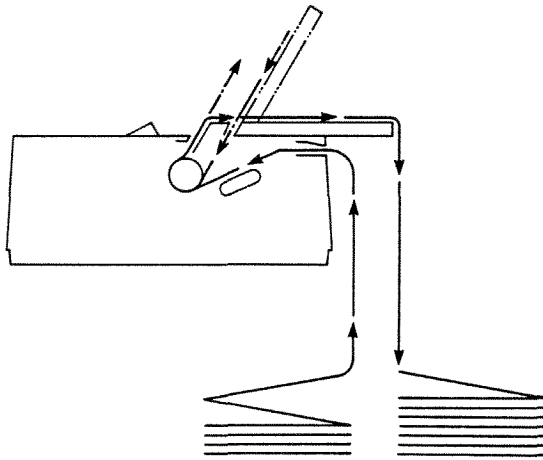
3.8 用紙モードの切り替え

単票、および連続用紙は下の図の矢印の方向に送られます。単票から連続用紙、連続用紙から単票への切り替えについて説明します。

注) 連続用紙送り機構の場合は、連続用紙のみ使用できます。単票を使用する場合は、連続用紙送り機構を取り外して、「3.5.1 単票手差しガイドによる単票のセットと位置合わせ」を参照してください。

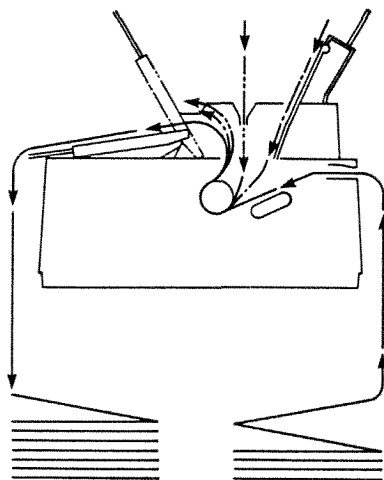
● オプションなしの場合

- 単票から連続用紙 (3.8.1 項参照)
- 連続用紙から単票 (3.8.2 項参照)



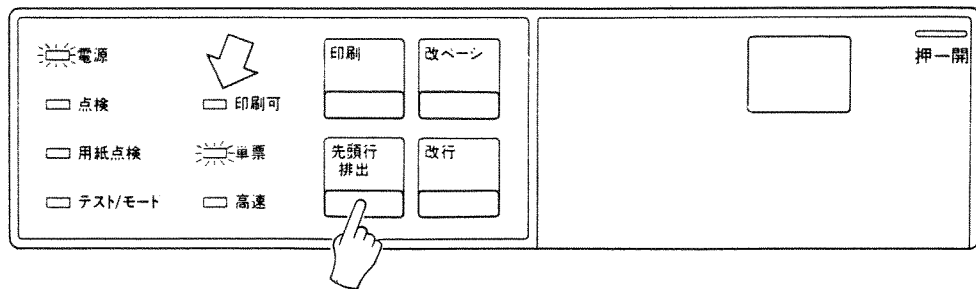
● 自動給紙機構付きの場合

- 単票から連続用紙 (3.8.3 項参照)
- 連続用紙から単票 (3.8.4 項参照)

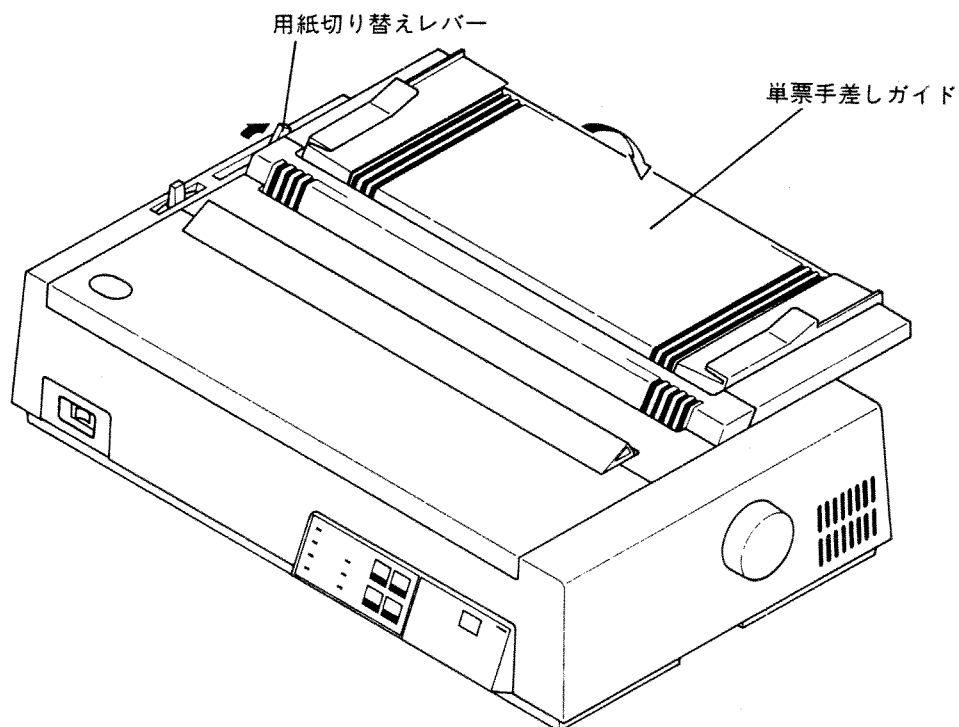


3.8.1 単票から連続用紙への切り替え

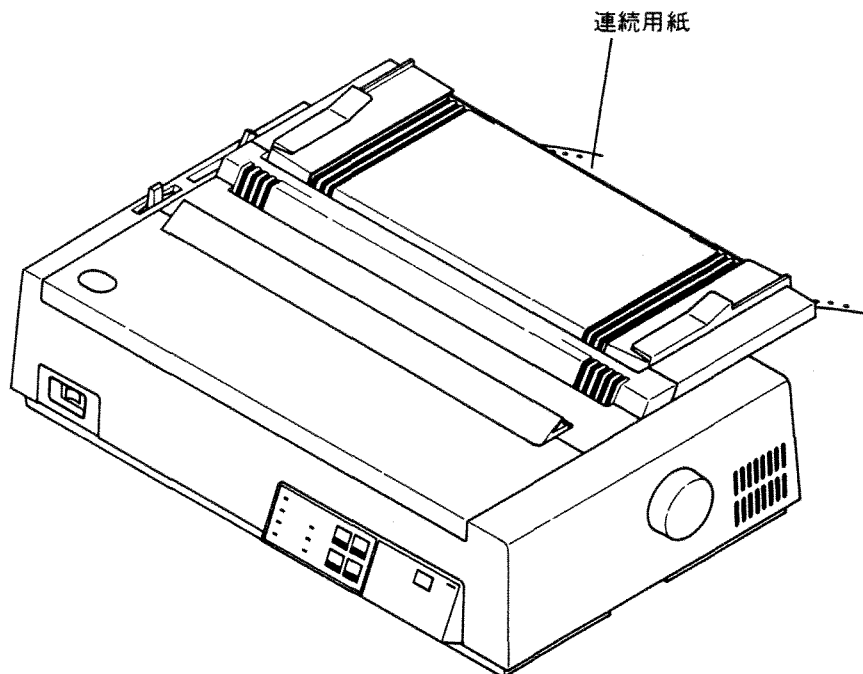
1. 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確認してください。
単票が吸入されている場合は、先頭行/排出スイッチを押して用紙を排出してください。



2. 単票手差しガイドを水平に倒し、用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。
用紙点検ランプが点灯します。

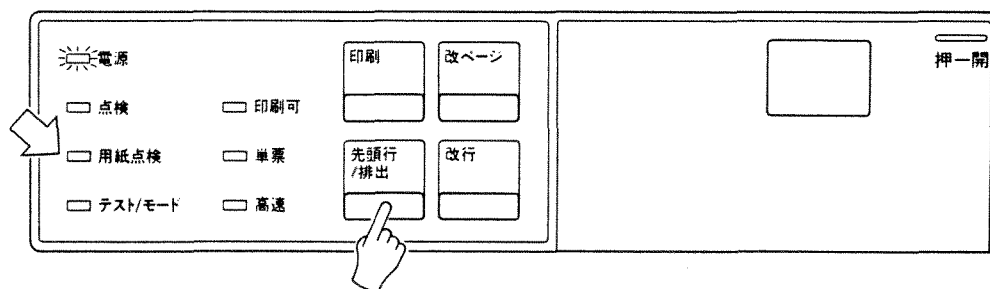


3. 連続用紙がトラクターにセットされていないときは、「3.5.2 内蔵トラクターによる連続用紙のセットと位置合わせ」を参照して、用紙をトラクターにセットしてください。



4. 先頭行/排出スイッチを押してください。連続用紙が先頭行まで送られます。また、用紙点検ランプが消えます。

注) 点検ランプがついた場合は電源スイッチを切って、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。



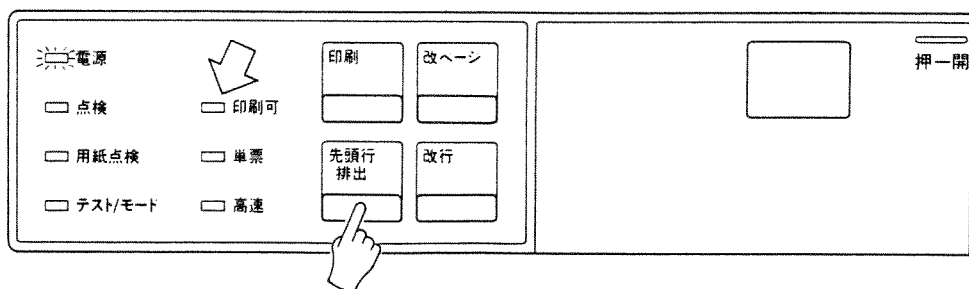
以上で単票から連続用紙への切り替えは終了です。

印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認してから、プリンターを使用してください。

3.8.2 連続用紙から単票への切り替え

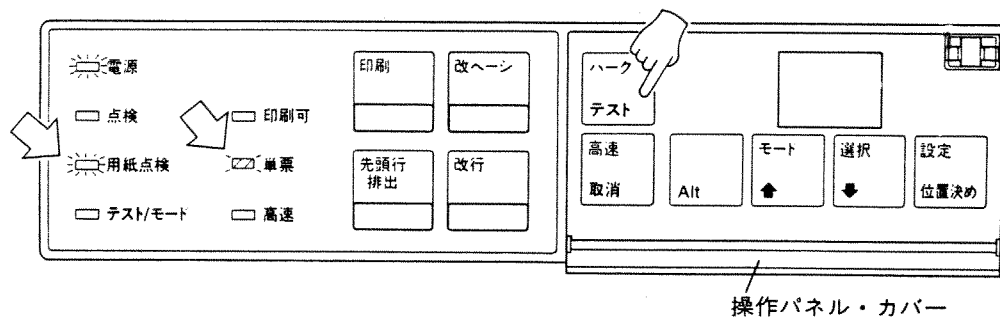
1. 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確認して、先頭行/排出スイッチを押してください。

印刷済みの連続用紙が排出されますので、ミシン目で切り離してください。

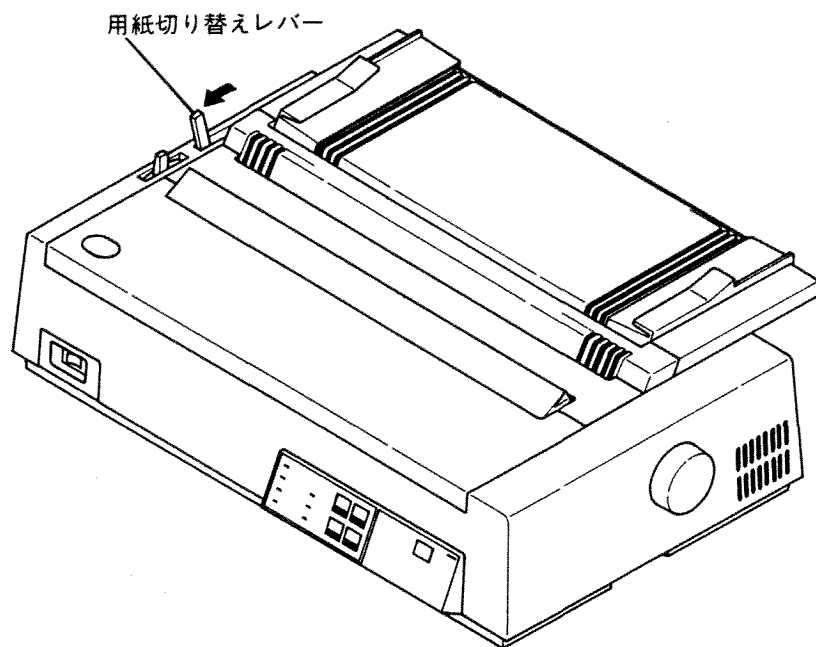


2. 操作パネル・カバーを開け、パーク・スイッチを押してください。
連続用紙がトラクターの位置まで逆送りされ、用紙点検ランプが点灯し、単票ランプが点滅します。

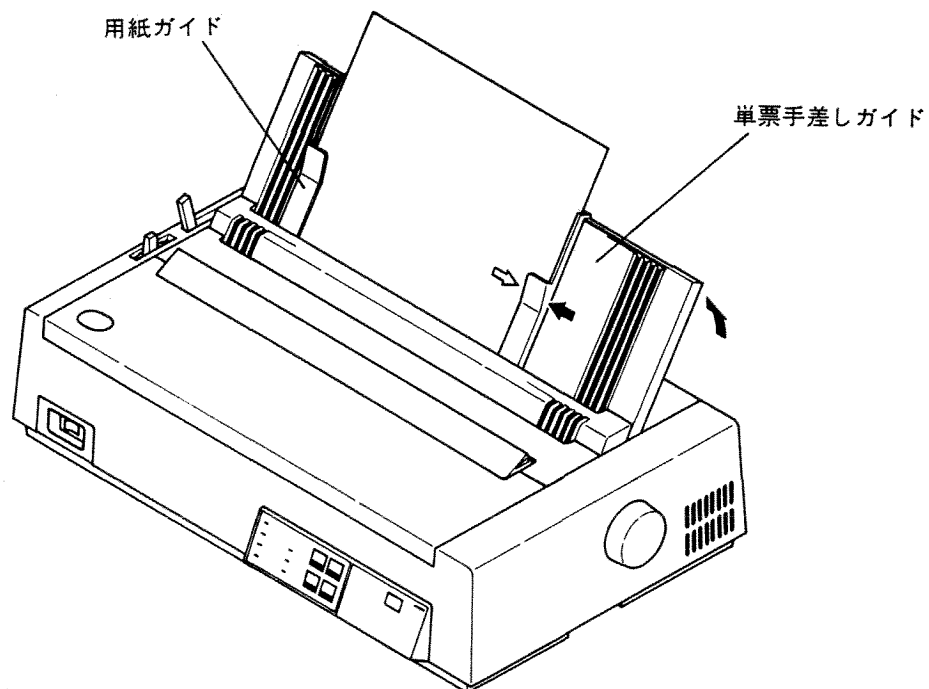
注) このとき、連続用紙をトラクターから取り外す必要はありません。



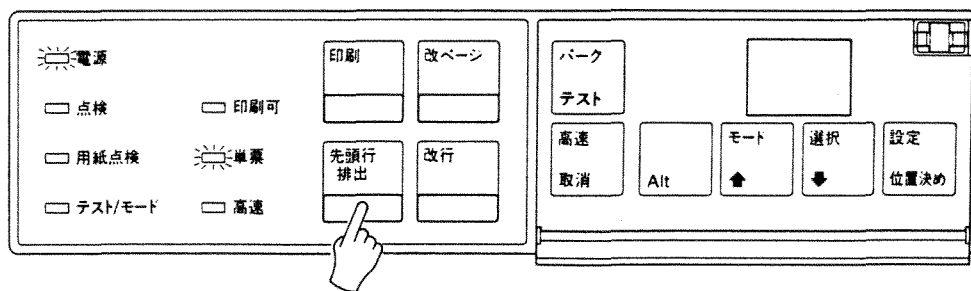
-
3. 用紙切り替えレバーを手前の「単票」にセットしてください。
単票ランプが点灯します。



-
4. 単票手差しガイドをを起こして左右の用紙ガイドを用紙に合わせて調整し、用紙をセットしてください。



5. 先頭行/排出スイッチを押してください。用紙が先頭行まで送られます。

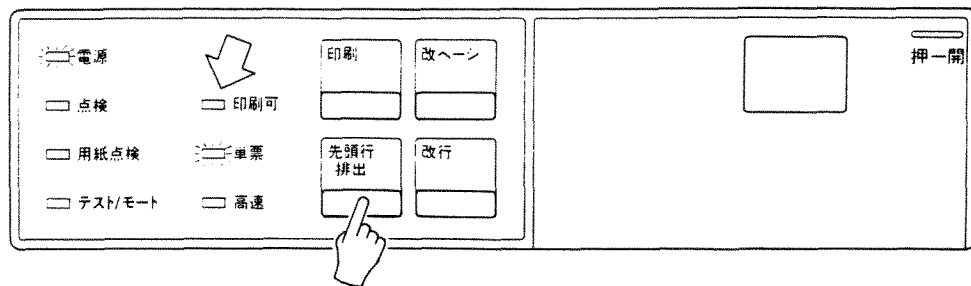


以上で連続用紙から単票への切り替えは終了です。

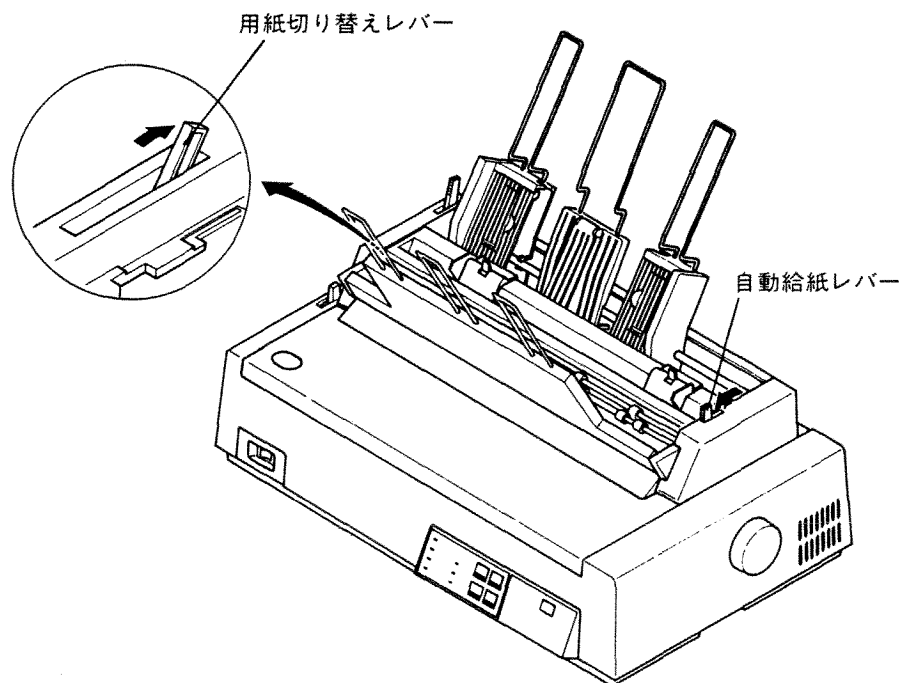
操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.8.3 自動給紙機構使用時の単票から連続用紙への切り替え

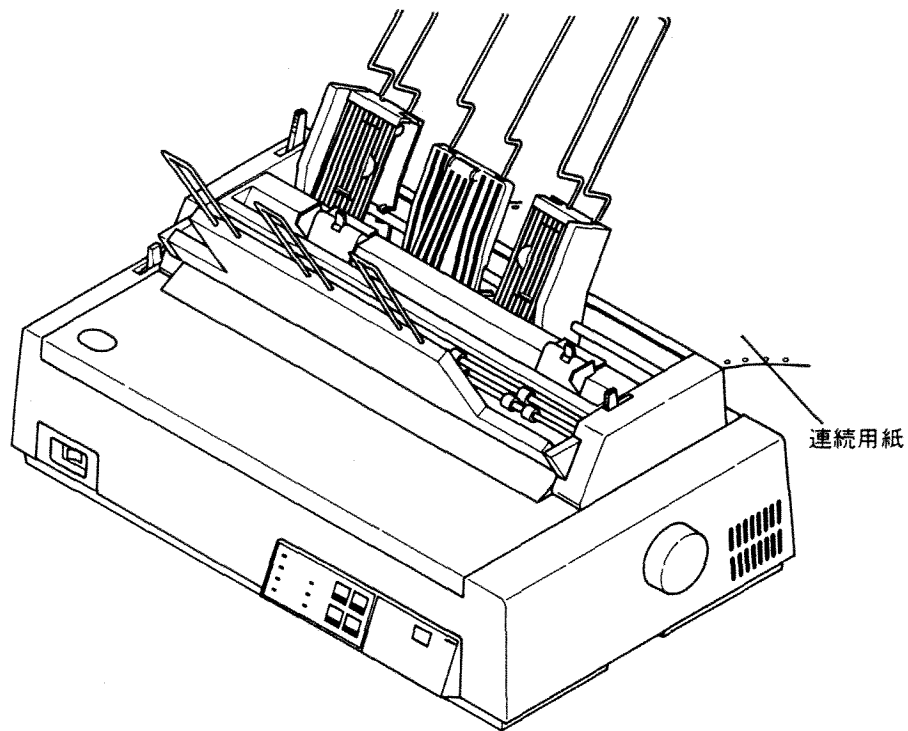
1. 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確認してください。
単票が吸入されている場合は、先頭行/排出スイッチを押して用紙を排出してください。



2. 自動給紙レバーを「連続紙/単票手差し」に、用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。
用紙点検ランプが点灯します。

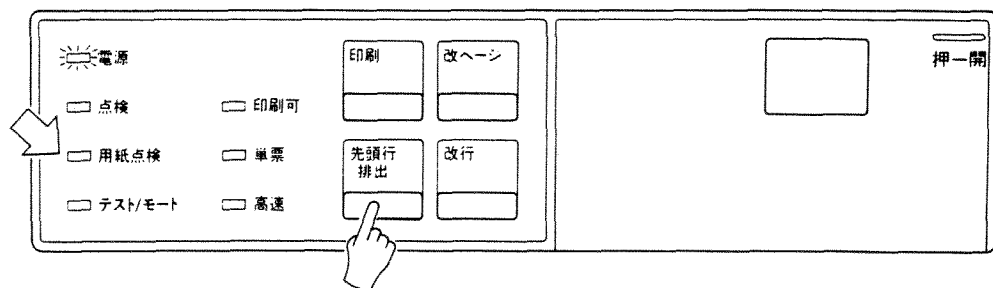


3. 連続用紙がトラクターにセットされていないときは、「3.5.5 自動給紙機構使用時の連続用紙のセットと位置合わせ」を参照して、用紙をトラクターにセットしてください。



4. 先頭行/排出スイッチを押してください。連続用紙が先頭行まで送られます。また、用紙点検ランプが消えます。

注) 点検ランプがついた場合は電源スイッチを切って、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。

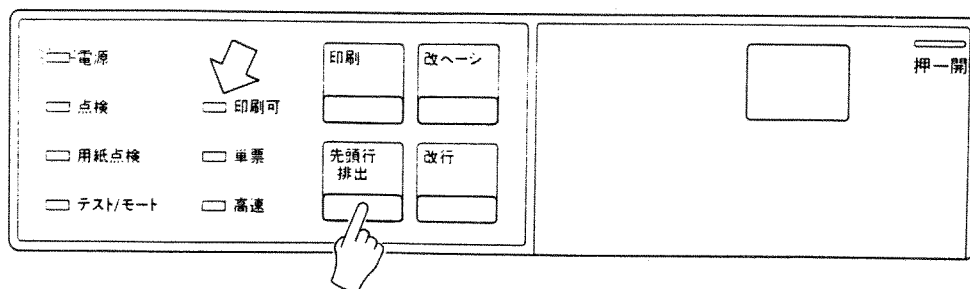


以上で単票から連続用紙への切り替えは終了です。
印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.8.4 自動給紙機構使用時の連続用紙から単票への切り替え

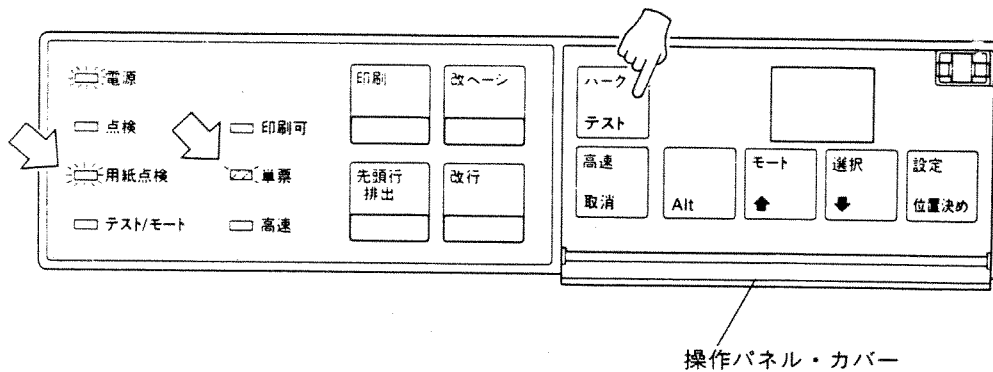
1. 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確認して、先頭行/排出スイッチを押してください。

印刷済みの連続用紙が排出されますので、ミシン目で切り離してください。

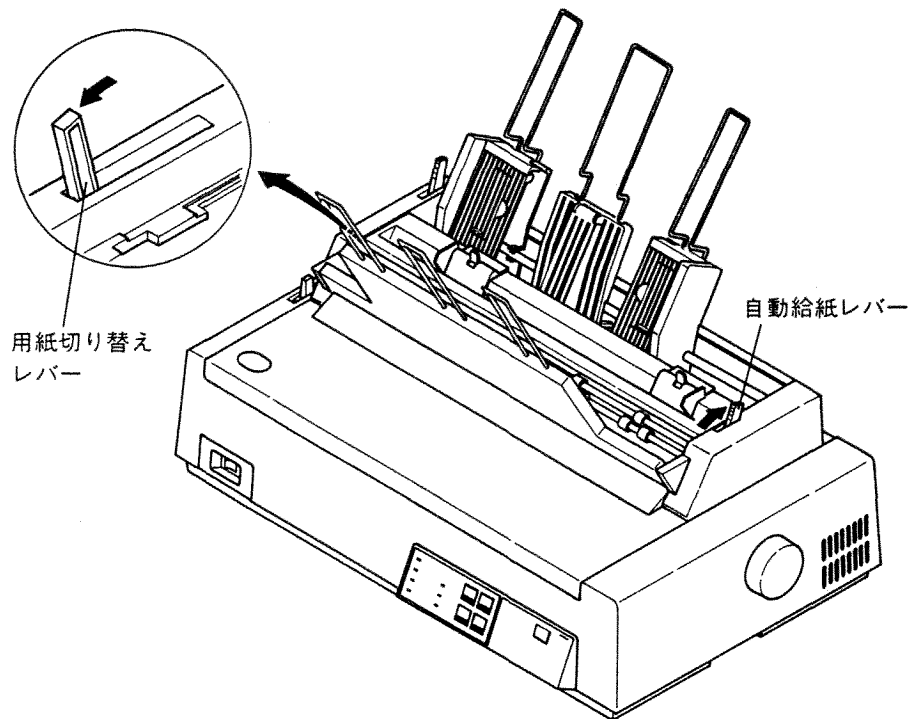


2. 操作パネル・カバーを開け、パーク・スイッチを押してください。
連続用紙がトラクターの位置まで逆送りされ、用紙点検ランプが点灯し、単票ランプが点滅します。

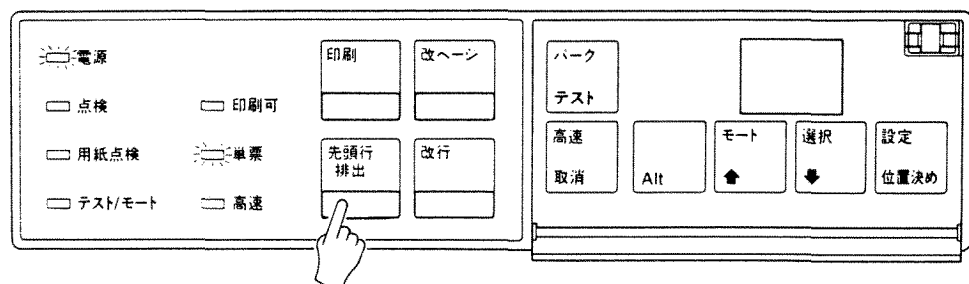
注) このとき、連続用紙をトラクターから取り外す必要はありません。



3. 用紙切り替えレバーを「単票」にセットしてください。単票ランプが点灯します。
 単票を自動給紙する場合は、自動給紙レバーを「自動給紙」にセットしてください。



4. 単票をセットして、先頭行/排出スイッチを押してください。
 用紙が先頭行まで送られます。



以上で連続用紙から単票への切り替えは終了です。
 操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.9 印刷の開始と停止

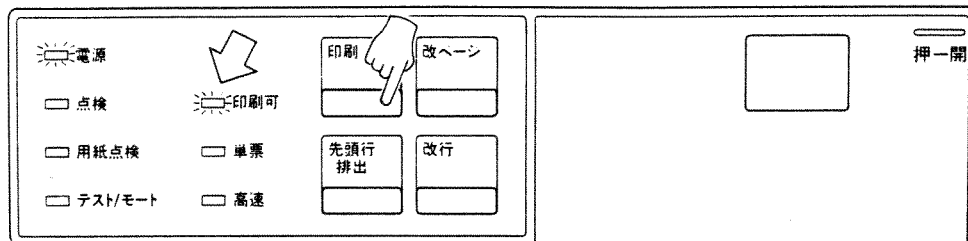
印刷の開始

プリンターの電源を入れてください。

初期診断テスト終了後、印刷可ランプがつき、印刷可状態になります。印刷不可状態のときは、印刷スイッチを押してください。プリンターは印刷可状態になります。

その後、システム・ユニットから印刷命令がくると印刷を開始します。

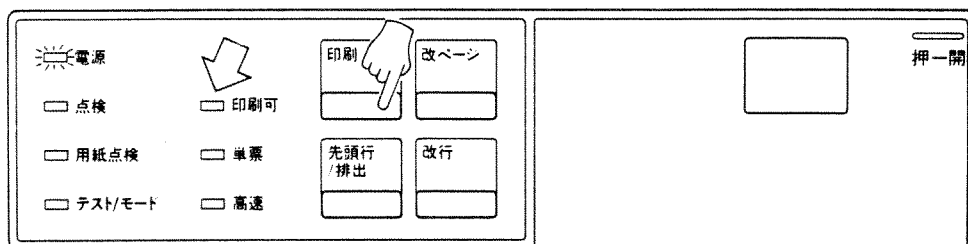
注) 用紙切れの場合、用紙点検ランプが点灯して印刷不可状態になります。用紙を補充してから印刷スイッチを押してください。点検ランプがついている場合は、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。



印刷の停止

印刷スイッチを押してください。

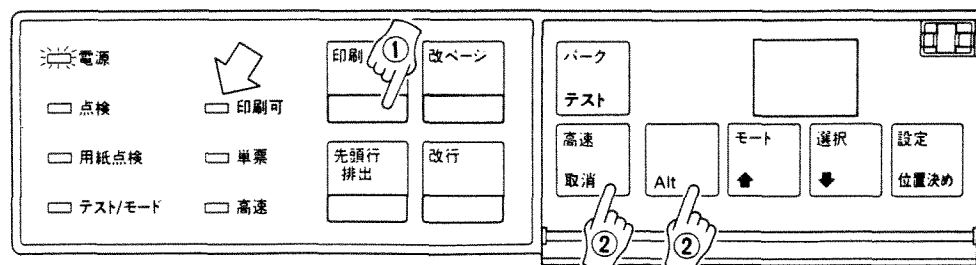
現在印刷している行を印刷し終えた後、印刷可ランプが消えプリンターは印刷不可状態になります。



印刷の取消

印刷スイッチを押してプリンターを印刷不可状態にし、操作パネル・カバーを開いて、取消スイッチ（Alt スイッチを押したまま高速スイッチ）を押してください。印刷を取り消す要求がシステム・ユニットに送られます。

実際に印刷を取り消すかどうかはソフトウェアによります。



印刷業務の終了

印刷業務が終了し、プリンターの電源を切るときには、次のことに注意してください。

- 連続用紙がセットされている場合は、用紙をマシン目で切り取り、印刷不可状態でパーク・スイッチを押して連続用紙をトラクター位置に後退させてください。

注) 連続用紙送り機構を装着しているときは、パーク・スイッチにより連続用紙を後退させることはできません。

- 自動給紙機構や、連続用紙送り機構に用紙が残っている場合は、用紙を取り外してください。

用紙をセットしたままにしておくと、用紙がカールして用紙づまりの原因になります。必ず取り外して、用紙は平らなところに保管してください。